

注3

大学番号：私193

[平成31年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 メディカルバイオサイエンス学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人関西文理総合学園

令和元年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名 事務局	
職名・氏名	シムキョクチョウ オクムラ タダカス 事務局長 奥村 忠一
電話番号	0749-64-8100
（夜間）	0749-64-8100
F A X	0749-64-8140
e-mail	t_okumura@nagahama-i-bio.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
 - 大学の設置の場合：「〇〇大学」
 - 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
 - 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
 - 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
 - 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
 - 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
 - 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
 - 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

バイオサイエンス学部

<メディカルバイオサイエンス学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	31

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 関西文理総合学園

(2) 大学名

長浜バイオ大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒526-0829

滋賀県長浜市田村町1266番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ワカバヤシ ヒロフミ) 若林 浩文 (平成29年12月)		
学長	(サイ コウシヨク) 蔡 晃植 (平成29年4月)		
学部長	(カワイ ヤスシ) 河合 靖 (平成31年4月)		
学科長等	(ナガタ ヒロシ) 永田 宏 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
バイオサイエンス学部 バイオサイエンス学科 学士 (バイオサイエンス)	理学関係	4年	70人	- 年次人	280人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	70人 (-) [-]	0人	人	人	人	人	人	人	1.12倍	- 倍	
志願者数	713 (-) [6]	-									
受験者数	697 (-) [6]	-									
合格者数	444 [5] [-]	-									
B 入学者数	79 (-) [5]	-									
入学定員超過率 B/A	1.12										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度				備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	79 [5] (-)	— [-] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	79 [5] (-)		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	79 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{79} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<バイオサイエンス学部 メディカルバイオサイエンス学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
語学系	一般英語 I	1前	2								兼4	一般英語 I	1前	2								兼3	
	一般英語 II	1後	2								兼4	一般英語 II	1後	2								兼3	
	科学英語 I	2前	2								兼4	科学英語 I	2前	2								兼3	
	科学英語 II	2後	2								兼4	科学英語 II	2後	2								兼3	
	科学英語 III	3・4前		2							兼1	科学英語 III	3・4前		2							兼1	
	科学英語 IV	3・4後		2							兼1	科学英語 IV	3・4後		2							兼1	
	英語多読 I	1・2前		2							兼1	英語多読 I	1・2前		2							兼0	
	英語多読 II	1・2後		2							兼1	英語多読 II	1・2後		2							兼0	
	英会話 I	2・3・4前		2							兼1	英会話 I	2・3・4前		2							兼1	
	英会話 II	2・3・4後		2							兼1	英会話 II	2・3・4後		2							兼1	
	TOEIC講座 I	3・4前		2							兼1	TOEIC講座 I	3・4前		2							兼1	
	TOEIC講座 II	3・4後		2							兼1	TOEIC講座 II	3・4後		2							兼1	
	英文法 I	1・2・3・4前		1							兼1	英文法 I	1・2・3・4前		1							兼1	
	英文法 II	1・2・3・4後		1							兼1	英文法 II	1・2・3・4後		1							兼1	
	海外英語研修	2・3・4前			1						兼1	海外英語研修	2・3・4前			1						兼0	
小計 (15科目)	-	8	18	1	0	0	0	0	0	兼7	小計 (15科目)	-	8	18	1	0	1	0	0	0	兼5		
学部共通	言語表現 I	1前	2								兼2	言語表現 I	1前	2								兼2	
	言語表現 II	1後	2								兼2	言語表現 II	1後	2								兼2	
	日本語 I (留学生)	1前		1							兼1	日本語 I (留学生)	1前		1							兼1	
	日本語 II (留学生)	1後		1							兼1	日本語 II (留学生)	1後		1							兼1	
	小計 (4科目)	-	4	2	0	0	0	0	0	0	兼2	小計 (4科目)	-	4	2	0	0	0	0	0	0	0	兼2
教養系	科学技術論	1前	2								兼1	科学技術論	1前	2								兼1	
	データサイエンス入門	1前	2								兼1	サイエンスイノベーション入門	1前	2			1	3				兼5	
	健康保健学	1前	2								兼1	健康保健学	1前	2								兼1	
	社会学	1前	2								兼1	社会学	1前	2								兼1	
	現代の政治と社会	1前	2								兼1	現代の政治と社会	1前	2								兼1	
	哲学	1前	2								兼1	哲学	1前	2								兼1	
	世界史	1前	2								兼1	世界史	1前	2								兼1	
	心理学	1前	2								兼1	心理学	1前	2								兼1	
	経済学	1後	2								兼1	経済学	1後	2								兼1	
	法学 (日本国憲法)	1後	2								兼1	法学 (日本国憲法)	1後	2								兼1	
	データ解析学	2前	2								兼1	データ解析学	2前	2								兼2	
	文学	2前	2								兼1	文学	2前	2								兼1	
	日本の歴史と文化	2前	2								兼1	日本の歴史と文化	2前	2								兼1	
	おうみ学生未来塾	2後	2								兼2	おうみ学生未来塾	2後	2			1					兼1	
	近江の文化と歴史	2後	2								兼1	近江の文化と歴史	2後	2								兼1	
小計 (15科目)	-	2	28	0	0	0	0	0	0	兼16	小計 (15科目)	-	2	28	0	2	3	0	0	0	0	兼19	
キャリア教育系 / ビジネス教育系	大学での学びと実践方法 I	1前	2				3				兼10	大学での学びと実践方法 I	1前	2			1	4		1		兼13	
	大学での学びと実践方法 II	1後	2								兼1	大学での学びと実践方法 II	1後	2			1					兼0	
	社風発見インターンシップ	1後		1							兼1	社風発見インターンシップ	1後		1		1					兼0	
	長浜魅力づくりプロジェクト	2通		2							兼1	長浜魅力づくりプロジェクト	2通		2		1					兼0	
	バイオビジネス概論	2前		2							兼2	バイオビジネス概論	2前		2		2					兼0	
	化学工学基礎	2後		2			1					兼1	化学工学基礎	2後		2		1					兼0
	マーケティング戦略の立案	2後		1								兼1	マーケティング戦略の立案	2後		1		1					兼0
	工学デザイン概論	2前		2			1						工学デザイン概論	2前		2		1					兼0
	社会との関わりとキャリアパス	3前		2								兼1	社会との関わりとキャリアパス	3前		2		1					兼0
	生物工学システム	3前		2				1				兼1	生物工学システム	3前		2			1				兼1
	インターンシップ実習	3後			1							兼1	インターンシップ実習	3後			1						兼1
	バイオ産業論	3後		2								兼1	バイオ産業論	3後		2		1					兼0
生産管理システム	3後										兼1	生産管理システム	3後			1		2				兼2	
小計 (12科目)	-	4	16	1	1	3	0	0	0	兼13	小計 (13科目)	-	4	17	1	3	4	0	1	0	0	兼16	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通	数理学系	数理学Ⅰ	1前	2							兼1	数理学Ⅰ	1前	2								兼1	
		数理学Ⅱ	1後		2						兼2	数理学Ⅱ	1後		2								兼2
		数理学Ⅲ	1後		2						兼1	数理学Ⅲ	1後		2								兼1
		数理学Ⅳ	2前		2						兼1	数理学Ⅳ	2前		2								兼1
		数理学Ⅴ	2後		2						券1	数理学Ⅴ	2後		2								兼1
		線形代数学	1前		2						兼1	線形代数学	1前		2								兼1
		数学基礎演習Ⅰ(基礎解析)	1前		1						兼2	数学基礎演習Ⅰ(基礎解析)	1前		1								兼2
		数学基礎演習Ⅱ(微分積分)	1後		1						兼1	数学基礎演習Ⅱ(微分積分)	1後		1								兼1
		解析学	2後		2						兼1	解析学	2後		2								兼1
		小計(9科目)	-	2	14	0	0	0	0	0	兼6	小計(9科目)	-	2	14	0	0	0	0	0	0	0	兼6
	物質科学系	化学基礎	1前	2				2				兼4	化学基礎	1前	2				2				兼4
		エッセンシャル生化学Ⅰ	1前	2				1					エッセンシャル生化学Ⅰ	1前	2			1					
エッセンシャル生化学Ⅱ		1後	2				1					エッセンシャル生化学Ⅱ	1後	2			1						
エッセンシャル化学Ⅰ		1後	2				1				兼2	エッセンシャル化学Ⅰ	1後	2			1					兼2	
エッセンシャル化学Ⅱ		2前		2							兼2	エッセンシャル化学Ⅱ	2前		2							兼2	
安全学		2前		2							兼1	安全学	2前		2								兼1
機器分析概論		2前		2							兼2	機器分析概論	2前		2								兼2
有機化学		2後		2							兼1	有機化学	2後		2								兼1
小計(8科目)	-	8	8	0	0	4	0	0	0	兼6	小計(8科目)	-	8	8	0	0	4	0	0	0	0	兼6	
情報系	コンピュータ基礎実習	1前		1							兼1	コンピュータ基礎実習	1前		1								兼2
	コンピュータ応用実習	1後	1				1				兼5	コンピュータ応用実習	1後	1			0		1			兼4	
	生命情報科学概論	2前		2							兼2	生命情報科学概論	2前		2							兼2	
	生命情報科学実習	2前		1			1				兼3	生命情報科学実習	2前		1		0					兼2	
	小計(4科目)	-	1	4	0	0	1	0	0	0	兼6	小計(4科目)	-	1	4	0	0	0	0	1	0	0	兼6
生命科学系	エッセンシャル生物学Ⅰ	1前	2			1						エッセンシャル生物学Ⅰ	1前	2			1						
	生物学基礎	1前		2			1					生物学基礎	1前		2			1					
	基礎微生物学	1前		2							兼2	基礎微生物学	1前		2							兼2	
	エッセンシャル動物科学	1前		2							兼7	エッセンシャル動物科学	1前		2							兼9	
	エッセンシャル生物学Ⅱ	1後	2								兼1	エッセンシャル生物学Ⅱ	1後	2								兼1	
	遺伝子工学	1後	2								兼1	遺伝子工学	1後	2								兼1	
	植物科学概論	1後		2							兼1	植物科学概論	1後		2							兼1	
	多様性生物学概論	1後		2							兼1	多様性生物学概論	1後		2							兼3	
	遺伝学概論	2前	2								兼3	遺伝学概論	2前	2								兼3	
	生命倫理・研究倫理	2前	2								兼5	生命倫理・研究倫理	2前	2			3	1				兼8	
小計(10科目)	-	10	10	0	1	1	0	0	0	兼13	小計(10科目)	-	10	10	0	4	2	0	0	0	0	兼16	
実験系	自然科学基礎実験Ⅰ	1前	3			2	1		1		兼5	自然科学基礎実験Ⅰ	1前	3			3	0		1		兼8	
	自然科学基礎実験Ⅱ	1後	3			2	1		1		兼5	自然科学基礎実験Ⅱ	1後	3			3	0		1		兼6	
	応用実験Ⅰ(物質系)	2前	1			1					兼1	応用実験Ⅰ(物質系)	2前	1			1					兼1	
	応用実験Ⅰ(DNA系)	2前	1								兼1	応用実験Ⅰ(DNA系)	2前	1								兼1	
	応用実験Ⅰ(タンパク質系)	2前	1			1					兼1	応用実験Ⅰ(タンパク質系)	2前	1			1					兼1	
	応用実験Ⅰ(微生物系)	2前	1			1						応用実験Ⅰ(微生物系)	2前	1			1						
	応用実験Ⅰ(動植物系)	2前	1				1				兼2	応用実験Ⅰ(動植物系)	2前	1				0				兼3	
	応用実験Ⅱ(物質系)	2後	1			1					兼1	応用実験Ⅱ(物質系)	2後	1			2					兼1	
	応用実験Ⅱ(DNA系)	2後	1								兼1	応用実験Ⅱ(DNA系)	2後	1								兼1	
	応用実験Ⅱ(タンパク質系)	2後	1			1			1			応用実験Ⅱ(タンパク質系)	2後	1			1			0			
	応用実験Ⅱ(動植物系)	2後	1			1					兼2	応用実験Ⅱ(動植物系)	2後	1			1					兼1	
	応用実験Ⅱ(情報系)	2後	1				1				兼2	応用実験Ⅱ(情報系)	2後	1				1				兼4	
小計(12科目)	-	18	0	0	3	3	0	1	0	兼9	小計(12科目)	-	18	0	0	4	1	0	1	0	0	兼15	
育系的教	バイオ実験夢チャレンジⅠ	1前			1	1						育系的バイオ実験夢チャレンジⅠ	1前			1	1					兼2	
	バイオ実験夢チャレンジⅡ	1後			1	1					兼2	育系的バイオ実験夢チャレンジⅡ	1後			1	1					兼2	
	小計(2科目)	-	0	0	2	1	0	0	0	0	兼2	小計(2科目)	-	0	0	2	1	0	0	0	0	0	兼2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
医療情報系	コンピュータ・グラフィックス実習	1前		1		1						兼1	コンピュータ・グラフィックス実習	1前		1								兼0	
	人工知能入門	1後		1		1						兼1	人工知能入門	1後		1								兼0	
	人工知能の理論と実践	2前		1		1						兼1	人工知能の理論と実践	2前		1								兼0	
	AIロボット製作実習	2後		1		1						兼1	AIロボット製作実習	2後		1								兼0	
	医療のための情報工学概論Ⅰ	2前		2								兼1	医療のための情報工学概論Ⅰ	2前		2		1						兼1	
	医療のための情報工学概論Ⅱ	2後		2								兼1	医療のための情報工学概論Ⅱ	2後		2		1						兼0	
	医用データベース技術Ⅰ	2前		1					1			兼1	医用データベース技術Ⅰ	2前		1		1				1		兼0	
	医用データベース技術Ⅱ	2後		1					1			兼1	医用データベース技術Ⅱ	2後		1		1				1		兼0	
	ゲノム解析学	2後		2			1						兼1	ゲノム解析学	2後		2			1					兼1
	医用工学概論	2後		2								兼1	医用工学概論	2後		2								兼1	
	立体解剖学	2後		2		1						兼1	立体解剖学	2後		2		1						兼1	
	インシリコ創薬基礎実習	3前	1				1					兼4	インシリコ創薬基礎実習	3前	1				1					兼3	
	進化生物学	3前		2			1						兼3	進化生物学	3前		2			1					兼2
	医療情報学概論	3後		2		1							兼3	医療情報学概論	3後		2		1						兼2
	インシリコ創薬応用実習	3後		1			1						兼3	インシリコ創薬応用実習	3後		1			1					兼2
小計(15科目)	-	1	21	0	2	1	0	1	0		兼6	小計(15科目)	-	1	21	0	2	1	0	1	0		兼6		
医科学系	実験動物学	1後		2								兼6	実験動物学	1後		2								兼6	
	動物生理学	2前		2								兼1	動物生理学	2前		2								兼1	
	組織学	2前		2								兼1	組織学	2前		2								兼1	
	医学概論	2前		2								兼2	医学概論	2前		2								兼3	
	栄養学	2前		2			1						兼1	栄養学	2前		2		1					兼1	
	神経科学	2後		2								兼1	神経科学	2後		2								兼1	
	食品衛生学	2後		2		1						兼1	食品衛生学	2後		2		1						兼1	
	動物系統分類学	2後		2								兼1	動物系統分類学	2後		2								兼1	
	動物生殖発生学	2後		2								兼2	動物生殖発生学	2後		2								兼2	
	免疫学	3前		2								兼2	免疫学	3前		2								兼8	
	病原ウイルス学	3前		2		1							兼1	病原ウイルス学	3前		2		1					兼1	
	公衆衛生学	3前		2								兼1	公衆衛生学	3前		2								兼1	
	病理学	3前		4								兼5	病理学	3前		4								兼5	
	細胞工学	3前		2								兼1	細胞工学	3前		2								兼1	
	発生生物学	3前		2								兼2	発生生物学	3前		2								兼3	
薬理学	3後		2								兼1	薬理学	3後		2								兼1		
小計(16科目)	-	0	34	0	1	1	0	0	0		兼17	小計(16科目)	-	0	34	0	1	1	0	0	0		兼23		
創薬科学系	医薬分子機能学	2後		2			1					兼1	医薬分子機能学	2後		2			1					兼1	
	生体高分子解析学	2後		2								兼1	生体高分子解析学	2後		2								兼1	
	放射線概論	2後		2		1						兼1	放射線生物学	2後		2		1						兼1	
	創薬科学概論	3前		2		1						兼1	創薬科学概論	3前		2		1						兼1	
	タンパク質工学	3前		2			2					兼1	タンパク質工学	3前		2			2					兼1	
	生理活性物質概論	3前		2			1					兼1	生理活性物質概論	3前		2			1					兼1	
	構造生物学	3後		2								兼1	構造生物学	3後		2								兼1	
	生体材料工学	3後		2			1					兼1	生体材料工学	3後		2			1					兼1	
小計(8科目)	-	0	16	0	2	3	0	0	0		兼2	小計(8科目)	-	0	16	0	2	3	0	0	0		兼2		
専門実験系	M専門実験ⅠA(医科学系)	3前	3			2	4						M専門実験ⅠA(医科学系)	3前	3			1	3						
	M専門実験ⅠB(創薬科学系)	3後	3			2	4						M専門実験ⅠB(創薬科学系)	3前	3			1	2		1				
	M専門実験ⅡA(医科学系)	3前	3			1	5						M専門実験ⅡA(医科学系)	3後	3			1	3						
	M専門実験ⅡB(創薬科学系)	3後	3			1	5						M専門実験ⅡB(創薬科学系)	3後	3			1	2		1				
	小計(4科目)	-	12	0	0	2	5	0	0	0			小計(4科目)	-	12	0	0	2	5	0	1	0	0		
専門総合系	文献調査・講読	4通	2			3	6						文献調査・講読	4通	2			3	6						
	卒業研究	4通	8			3	6						卒業研究	4通	8			3	6						
	小計(2科目)	-	10	0	0	3	6	0	0	0			小計(2科目)	-	10	0	0	3	6	0	0	0	0		
科教特目育定	特殊講義(単位互換)	1-2-3-4											特殊講義(単位互換)	1-2-3-4											
	小計(-科目)	-											小計(-科目)	-											
合計(136科目)	-	80	171	4	8	6	0	2	0		兼62	合計(137科目)	-	80	172	4	9	7	0	2	0		兼67		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
卒業要件及び履修方法											卒業要件及び履修方法												
卒業には、所定の在学期間を満たし、各科目区分ごとに定める必要単位の合計122単位に加え、すべてのプログラムのいずれかの系統から6単位以上を選択履修し、合計128単位以上を修得しなければならない。なおこの6単位以上の履修には、他学科受講科目の単位を含めることが出来る。（履修科目の登録の上限：48単位（年間））											卒業には、所定の在学期間を満たし、各科目区分ごとに定める必要単位の合計122単位に加え、すべてのプログラムのいずれかの系統から6単位以上を選択履修し、合計128単位以上を修得しなければならない。なおこの6単位以上の履修には、他学科受講科目の単位を含めることが出来る。（履修科目の登録の上限：48単位（年間））												

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・専任教員が定年退職前であるため、「一般英語Ⅰ」「一般英語Ⅱ」「科学英語Ⅰ」「科学英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼4」から「准教授1」「兼3」に変更。
- ・専任教員が定年退職前であるため、「英語多読Ⅰ」「英語多読Ⅱ」「海外英語研修」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・近年、データサイエンス分野だけでなくバイオサイエンス分野でも大きなイノベーションが起き、急速に社会に浸透してきている。そこで、科目名称を「データサイエンス入門」から「サイエンスイノベーション入門」へ変更し、データサイエンスに加えゲノム編集や再生医療なども対象とすることとした。対象分野を広げたため、専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」「准教授3」「兼5」に変更。
- ・専門性をより深く学生に教授するために「データ解析学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に追加配置。
- ・専任教員が退職前であるため、「おうみ学生未来塾」の専任教員等の配置を、「兼2」から「教授1」「兼1」に変更。
- ・学生に情報収集・分析、課題発見・解決するための思考力・表現力をつけるために「大学での学びと実践方法Ⅰ」ではグループワークを導入している。より少人数でのグループ配置が効果的だと判断し、「准教授3」「兼10」から「教授1」「准教授4」「助教1」「兼13」に追加配置。
- ・専任教員が退職前であるため、「大学での学びと実践方法Ⅱ」「社風発見インターンシップ」「長浜魅力づくりプロジェクト」「マーケティング戦略の立案」「社会との関わりとキャリアパス」「バイオ産業論」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員が退職前であるため、「バイオビジネス概論」の専任教員等の配置を「兼2」から「教授2」に変更。
- ・企業における効率的な生産管理を理解することを学ぶために「生産管理システム」を新規科目として設置。配当年次3後、1単位、「准教授2」「兼2」を配置。
- ・「数理学Ⅴ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼1」に修正。
- ・履修受講を希望する学生が多いため、より丁寧な指導を目的として「コンピュータ基礎実習」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちに効果的に習得してもらうために「コンピュータ応用実習」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼5」から「助教1」「兼4」に変更。
- ・高いプログラミングの知識と技術を深く教授するために「生命情報科学実習」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼3」から「兼2」に変更。
- ・学生がより幅広い動物学の知識を効果的に習得できるように「エッセンシャル動物科学」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼9」に追加配置。
- ・学生がより幅広い知識を履修できるように「多様性生物学概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に追加配置。
- ・近年の生命倫理・研究倫理の重要性とその広がりから「生命倫理・研究倫理」の専任教員等の配置を「兼5」から「教授3」「准教授1」「兼8」に追加配置。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するために「自然科学基礎実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」「助教1」「兼5」から「教授3」「助教1」「兼8」に追加配置。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するために「自然科学基礎実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」「助教1」「兼5」から「教授3」「助教1」「兼6」に追加配置。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験Ⅰ（動植物系）」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼2」から「兼3」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験Ⅱ（物質系）」の専任教員等の配置を「教授1」「兼1」から「教授2」「兼1」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように、実験補助員を多数配置する予定のため、「応用実験Ⅱ（タンパク質系）」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように、実験補助員を多数配置する予定のため、「応用実験Ⅱ（動植物系）」の専任教員等の配置を「教授1」「兼2」から「教授1」「兼1」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験Ⅱ（情報系）」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼2」から「准教授1」「兼4」に追加配置。
- ・学生により丁寧な指導をするために、「バイオ実験夢チャレンジ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「兼2」に追加配置。
- ・兼任講師の就任延期のため、「コンピュータ・グラフィックス実習」「人工知能入門」「人工知能の理論と実践」「AIロボット製作実習」の専任教員等の配置を「教授1」「兼1」から「教授1」に変更。
- ・専門的知識をより効果的に教授するために「医療のための情報工学概論Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」「兼1」に変更。
- ・専門的知識をより効果的に教授するために「医療のための情報工学概論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・専門的知識をより効果的に教授するために「医用データベース技術Ⅰ」「医用データベース技術Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」「兼1」から「教授1」「助教1」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように、実習補助員を多数配置する予定のため、「インシリコ創薬基礎実習」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼4」から「准教授1」「兼3」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように、実習補助員を多数配置する予定のため、「インシリコ創薬応用実習」の専任教員等の配置を「准教授1」「兼3」から「准教授1」「兼2」に変更。
- ・学生がより幅広い知識を履修できるように「医学概論」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に追加配置。
- ・専門性をより深く教授するために「免疫学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼8」に追加配置。
- ・専門性をより深く教授するために「発生生物学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に追加配置。
- ・生物に対する放射線の影響が中心的な講義内容であることから「放射線概論」の名称を「放射線生物学」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように、実験補助員を多数配置する予定のため、「M専門実験ⅠA（医科学系）」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授4」から「教授1」「准教授3」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「M専門実験ⅠB（創薬科学系）」の配当年次を3後から3前に変更。また、実験補助員を多数配置する予定のため、専任教員等の配置を「教授2」「准教授4」から「教授1」「准教授2」「助教1」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「M専門実験ⅡA（医科学系）」の配当年次を3前から3後に変更。また、実験補助員を多数配置する予定のため、専任教員等の配置を「教授1」「准教授5」から「教授1」「准教授3」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように、実験補助員を多数配置する予定のため、「M専門実験ⅡB（創薬科学系）」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授5」から「教授1」「准教授2」「助教1」に変更。

(注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、

授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
39 科目	93 科目	4 科目	136 科目	39 科目	94 科目	4 科目	137 科目	・企業における効率的な生産管理を理解することを学ぶために「生産管理システム」を新規科目として設置。
				[]	[1]	[]	[1]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{136} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	校舎隣接地の購入(2018年7月)により校舎敷地が1,591㎡増加。(元)			
	校舎敷地	46,006.80㎡ 44,415.80㎡	0㎡	0㎡	46,006.80㎡ 44,415.80㎡				
	運動場用地	6,000.00㎡	0㎡	0㎡	6,000.00㎡				
	小 計	52,006.80㎡ 50,415.80㎡	0㎡	0㎡	52,006.80㎡ 50,415.80㎡				
	そ の 他	2,867.00㎡	0㎡	0㎡	2,867.00㎡				
	合 計	54,873.80㎡ 53,282.80㎡	0㎡	0㎡	54,873.80㎡ 53,282.80㎡				
(2) 校舎		専 用 19,540.72㎡ (19540.72㎡)	共 用 0㎡ (0㎡)	共用する他の学校等の専用 0㎡ (0㎡)	計 19,540.72㎡ (19540.72㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 実験実習室には専任教員実験研究室(学生の「卒業研究」も実施)45室も含む。			
	9室	14室	60室	3室 (補助職員2人)	0室 (補助職員0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員研究室(教員室)はオフィス相当			
	大学全体			50 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体の数	
	バイオサイエンス学部	40,500 [7,600] (36,800 [7000])	70 [5] (70 [5])	1400 [1400] (1400 [1400])	780 (660)	0 (0)	0 (0)		
	計	40,500 [7,600] (36,800 [7000])	70 [5] (70 [5])	1400 [1400] (1400 [1400])	780 (660)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	604.53㎡		148		63,889				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,308.97㎡		テニスコート2面		該当なし				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	平成31年3月期決算の実績に修正したため(元) 平成31年3月期決算の実績に修正したため(元)
		教員1人当たり研究費等	500千円	500千円	図書購入費	25,331千円 27,260千円	27,260千円	27,260千円	
		共同研究費等	10,000千円	10,000千円	設備購入費	72,890千円 68,587千円	70,000千円	70,000千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	フロンティアバイオサイエンス学科 (臨床検査学コース)	1,640千円 (1,640千円)	1,510千円 (1,538千円)	1,510千円 (1,538千円)	1,510千円 (1,538千円)	— 千円 — 千円	— 千円 — 千円		
	アニマルバイオサイエンス学科	1,640千円	1,510千円	1,510千円	1,510千円	— 千円	— 千円		
	メディカルバイオサイエンス学科	1,640千円	1,510千円	1,510千円	1,510千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金、寄付金、資産運用により収入確保を図る。							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	長浜バイオ大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
バイオサイエンス研究科 博士課程前期課程	2	36	-	72	修士 (バイオサイエンス)	0.70		平成19	滋賀県長浜市 田村町1266	
バイオサイエンス研究科 博士課程後期課程	3	5	-	15	博士 (バイオサイエンス)	0.80		平成19	滋賀県長浜市 田村町1266	
バイオサイエンス学部	4	238	3年次 4	960		1.13		平成15	滋賀県長浜市 田村町1266	
フロンティアバイオサイエンス学科	4	118	4	600	学士 (バイオサイエンス)	1.13		平成15	同上	平成31 名称変更 定員変更(△ 40)
メディカルバイオサイエンス学科	4	70	-	70	学士 (バイオサイエンス)	1.12	平成31	平成31	同上	
アニマルバイオサイエンス学科	4	50	-	200	学士 (バイオサイエンス)	1.15		平成21	同上	
コンピュータバイオサイエンス学科	4	-	-	90	学士 (バイオサイエンス)	0.97		平成21	同上	平成31 学生募集 停止(△30)
大学全体		279	4	1047	-	1.09	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<バイオサイエンス学部 メディカルバイオサイエンス学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	伊藤 正恵 (61) <平成31年4月> 医学博士
		食品衛生学※ 病原ウイルス学 M専門実験 I A (医科学系) M専門実験 II A (医科学系) M専門実験 I B (創薬科学系) M専門実験 II B (創薬科学系) 文献調査・講読 卒業研究
専	教授	植月 太一 (61) <平成31年4月> 理学博士
		エッセンシャル生物学 I 放射線概論 応用実験 I (微生物系) 応用実験 II (動植物系) M専門実験 I A (医科学系) M専門実験 I B (創薬科学系)
専	教授	川瀬 雅也 (57) <平成31年4月> 工学博士
		応用実験 I (タンパク質系) 工学デザイン概論 化学工学基礎 応用実験 II (タンパク質系) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 II
専	教授	佐々木 真一 (48) <平成31年4月> 博士(理学)
		応用実験 I (物質系) 応用実験 II (物質系) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 II
専	教授	永田 宏 (59) <平成31年4月> 博士(医学)
		医療情報学概論 文献調査・講読 卒業研究
専	教授	松島 三兒 (66) (高) <平成31年4月> 修士(経済学)
		大学での学びと実践方法 I ※ 大学での学びと実践方法 II 社風発見インターンシップ バイオビジネス概論※ 長浜魅力づくりプロジェクト おうみ学生未来塾 マーケティング戦略の立案 社会との関わりとキャリアパス バイオ産業論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	伊藤 正恵 (61) <平成31年4月> 医学博士
		食品衛生学※ 病原ウイルス学 M専門実験 I A (医科学系) M専門実験 II A (医科学系) M専門実験 I B (創薬科学系) M専門実験 II B (創薬科学系) 文献調査・講読 卒業研究
専	教授	植月 太一 (61) <平成31年4月> 理学博士
		エッセンシャル生物学 I 放射線生物学 応用実験 I (微生物系) 応用実験 II (動植物系) M専門実験 I A (医科学系) M専門実験 I B (創薬科学系) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 II
専	教授	川瀬 雅也 (57) <平成31年4月> 工学博士
		応用実験 I (タンパク質系) 工学デザイン概論 化学工学基礎 応用実験 II (タンパク質系) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 II 生命倫理・研究倫理※
専	教授	佐々木 真一 (48) <平成31年4月> 博士(理学)
		応用実験 I (物質系) 応用実験 II (物質系) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 II
専	教授	永田 宏 (59) <平成31年4月> 博士(医学)
		医療情報学概論 文献調査・講読 卒業研究 医用データベース技術 I ※ 医用データベース技術 II ※ 医療のための情報工学概論 I ※ 医療のための情報工学概論 II
専	教授	松島 三兒 (66) (高) <平成31年4月> 修士(経済学)
		大学での学びと実践方法 I ※ 大学での学びと実践方法 II 社風発見インターンシップ バイオビジネス概論※ 長浜魅力づくりプロジェクト おうみ学生未来塾 マーケティング戦略の立案 社会との関わりとキャリアパス バイオ産業論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松島 三兒 (68) <平成33年4月> 修士(経済学)
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ 大学での学びと実践方法Ⅱ 社風発見インターンシップ バイオビジネス概論※ 長浜魅力づくりプロジェクト おうみ学生未来塾 マーケティング戦略の立案 社会との関わりとキャリアパス バイオ産業論
専	教授	水上 民夫 (64) (高) <平成31年4月> 農学博士
		バイオビジネス概論※ 創薬科学概論
専	教授	山本 博章 (65) (高) <平成31年4月> 理学博士
		バイオ実験夢チャレンジⅠ バイオ実験夢チャレンジⅡ
専	教授	和田 健之介 (61) <平成31年4月> 修士(※)(理学)
		コンピュータ・グラフィックス実習 人工知能入門 人工知能の理論と実践 AIロボット製作実習 立体解剖学 文献調査・講読 卒業研究
専	准教授	麻生 一枝 (64) (高) <平成31年4月> 理学博士
		一般英語Ⅰ 英語多読Ⅰ 一般英語Ⅱ 英語多読Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 海外英語研修
兼任	講師	麻生 一枝 (65) <平成32年4月> 理学博士
		一般英語Ⅰ 英語多読Ⅰ 一般英語Ⅱ 英語多読Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 海外英語研修
専	准教授	岩本(木原) 昌子 (56) <平成31年4月> 博士(工学)
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ エッセンシャル生化学Ⅱ 生物学基礎 自然科学基礎実験Ⅰ M専門実験ⅠA(医科学系) M専門実験ⅡA(医科学系) M専門実験ⅠB(創薬科学系) M専門実験ⅡB(創薬科学系) 文献調査・講読 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松島 三兒 (68) <平成33年4月> 修士(経済学)
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ 大学での学びと実践方法Ⅱ 社風発見インターンシップ バイオビジネス概論 長浜魅力づくりプロジェクト おうみ学生未来塾 マーケティング戦略の立案 社会との関わりとキャリアパス バイオ産業論
専	教授	水上 民夫 (64) <平成31年4月> 農学博士
		バイオビジネス概論※ 創薬科学概論 生命倫理・研究倫理※ M専門実験ⅠB(創薬科学系) M専門実験ⅡB(創薬科学系)
専	教授	山本 博章 (66) (高) <平成31年4月> 理学博士
		バイオ実験夢チャレンジⅠ バイオ実験夢チャレンジⅡ 生命倫理・研究倫理※ 応用実験Ⅱ(物質系)
専	教授	和田 健之介 (62) <平成31年4月> 修士(※)(理学)
		コンピュータ・グラフィックス実習 人工知能入門 人工知能の理論と実践 AIロボット製作実習 立体解剖学 文献調査・講読 卒業研究 サイエンスイノベーション入門※
専	准教授	麻生 一枝 (64) <平成31年4月> 理学博士
		一般英語Ⅰ 英語多読Ⅰ 一般英語Ⅱ 英語多読Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 海外英語研修 生命倫理・研究倫理※
兼任	講師	麻生 一枝 (65) <平成32年4月> 理学博士
		一般英語Ⅰ 英語多読Ⅰ 一般英語Ⅱ 英語多読Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 海外英語研修 生命倫理・研究倫理※
専	准教授	岩本(木原) 昌子 (56) <平成31年4月> 博士(工学)
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ エッセンシャル生化学Ⅱ 生物学基礎 自然科学基礎実験Ⅰ M専門実験ⅠA(医科学系) M専門実験ⅡA(医科学系) M専門実験ⅠB(創薬科学系) M専門実験ⅡB(創薬科学系) 文献調査・講読 卒業研究 生産管理システム※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大島 一彦 (52) <平成31年4月> 博士(理学)
		コンピュータ応用実習 生命情報科学実習 応用実験Ⅱ(情報系) ゲノム解析学 インシリコ創薬基礎実習 進化生物学 インシリコ創薬応用実習 文献調査・講読 卒業研究
専	准教授	亀村 和生 (50) <平成31年4月> 博士(学術)
		化学基礎 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 栄養学 M専門実験ⅠA(医科学系) M専門実験ⅡA(医科学系) M専門実験ⅠB(創薬科学系) M専門実験ⅡB(創薬科学系) 文献調査・講読 卒業研究
専	准教授	中村 卓 (47) <平成31年4月> 博士(工学)
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ 生物工学システム※ 生理活性物質概論 タンパク質工学※ 生体材料工学※ M専門実験ⅠA(医科学系) M専門実験ⅡA(医科学系) M専門実験ⅠB(創薬科学系) M専門実験ⅡB(創薬科学系) 文献調査・講読 卒業研究
専	准教授	奈良 篤樹 (46) <平成31年4月> 博士(理学)
		化学基礎 タンパク質工学※ 応用実験Ⅰ(動植物系) M専門実験ⅡA(医科学系) M専門実験ⅡB(創薬科学系) 文献調査・講読 卒業研究
専	准教授	向井 秀仁 (57) <平成31年4月> 学術博士
		エッセンシャル生化学Ⅰ エッセンシャル化学Ⅰ※ 医薬分子機能学 M専門実験ⅠA(医科学系) M専門実験ⅡA(医科学系) M専門実験ⅠB(創薬科学系) M専門実験ⅡB(創薬科学系) 文献調査・講読 卒業研究
専	助教	保科 亮 (44) <平成31年4月> 博士(理学)
		自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅱ(タンパク質系)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大島 一彦 (52) <平成31年4月> 博士(理学)
		コンピュータ応用実習 生命情報科学実習 応用実験Ⅱ(情報系) ゲノム解析学 インシリコ創薬基礎実習 進化生物学 インシリコ創薬応用実習 文献調査・講読 卒業研究 大学での学びと実践方法Ⅰ※
専	准教授	亀村 和生 (50) <平成31年4月> 博士(学術)
		化学基礎 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 栄養学 M専門実験ⅠA(医科学系) M専門実験ⅡA(医科学系) M専門実験ⅠB(創薬科学系) M専門実験ⅡB(創薬科学系) 文献調査・講読 卒業研究 サイエンスイノベーション入門※
専	准教授	中村 卓 (47) <平成31年4月> 博士(工学)
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ 生物工学システム※ 生理活性物質概論 タンパク質工学※ 生体材料工学※ M専門実験ⅠA(医科学系) M専門実験ⅡA(医科学系) M専門実験ⅠB(創薬科学系) M専門実験ⅡB(創薬科学系) 文献調査・講読 卒業研究 生産管理システム※
専	准教授	奈良 篤樹 (46) <平成31年4月> 博士(理学)
		化学基礎 タンパク質工学 応用実験Ⅰ(動植物系) M専門実験ⅠA(医科学系) M専門実験ⅡA(医科学系) M専門実験ⅡB(創薬科学系) サイエンスイノベーション入門※ 文献調査・講読 卒業研究
専	准教授	向井 秀仁 (57) <平成31年4月> 学術博士
		エッセンシャル生化学Ⅰ エッセンシャル化学Ⅰ※ 医薬分子機能学 M専門実験ⅠA(医科学系) M専門実験ⅡA(医科学系) M専門実験ⅠB(創薬科学系) M専門実験ⅡB(創薬科学系) 文献調査・講読 卒業研究 サイエンスイノベーション入門※
専	助教	保科 亮 (44) <平成31年4月> 博士(理学)
		自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅱ(タンパク質系) M専門実験ⅠB(創薬科学系) M専門実験ⅡB(創薬科学系) 大学での学びと実践方法Ⅰ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	米澤 弘毅 (42) <平成31年4月> 博士(情報学)
		医用データベース技術Ⅰ 医用データベース技術Ⅱ
兼任	教授(学長)	蔡 晃植 (58) <平成31年4月> 農学博士
		データサイエンス入門
兼任	教授	宇佐美 昭二 (56) <平成31年4月> 理学博士
		応用実験Ⅰ(DNA系) 応用実験Ⅱ(DNA系) 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ
兼任	教授	大島 淳 (62) (高) <平成31年4月> 博士(農学)
		基礎微生物学※ 科学技術論 遺伝子工学 インターンシップ実習
兼任	教授	河合 靖 (55) <平成31年4月> 博士(理学)
		エッセンシャル化学Ⅰ※ 安全学 エッセンシャル化学Ⅱ※ 機器分析概論※ 有機化学
兼任	教授	齊藤 修 (59) <平成31年4月> 理学博士
		エッセンシャル動物科学※ 実験動物学※ 生命倫理・研究倫理※ 神経科学
兼任	教授	白井 剛 (52) <平成31年4月> 博士(理学)
		コンピュータ応用実習 生命情報科学概論※ 生命情報科学実習 生命倫理・研究倫理※ 応用実験Ⅱ(情報系) インシリコ創薬基礎実習 インシリコ創薬応用実習 構造生物学
兼任	教授	永井 信夫 (54) <平成31年4月> 博士(理学)
		エッセンシャル動物科学※ 実験動物学※ 生命倫理・研究倫理※ 動物生理学 薬理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	米澤 弘毅 (42) <平成31年4月> 博士(情報学)
		医用データベース技術Ⅰ※ 医用データベース技術Ⅱ※ コンピュータ応用実習
兼任	教授(学長)	蔡 晃植 (58) <平成31年4月> 農学博士
		サイエンスイノベーション入門※
兼任	教授	宇佐美 昭二 (56) <平成31年4月> 理学博士
		応用実験Ⅰ(DNA系) 応用実験Ⅱ(DNA系) 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ
兼任	教授	大島 淳 (62) <平成31年4月> 博士(農学)
		基礎微生物学※ 科学技術論 遺伝子工学 インターンシップ実習
兼任	教授	河合 靖 (55) <平成31年4月> 博士(理学)
		エッセンシャル化学Ⅰ※ 安全学 エッセンシャル化学Ⅱ※ 機器分析概論※ 有機化学
兼任	教授	齊藤 修 (59) <平成31年4月> 理学博士
		エッセンシャル動物科学※ 実験動物学※ 生命倫理・研究倫理※ 神経科学 応用実験Ⅰ(動植物系)
兼任	教授	白井 剛 (52) <平成31年4月> 博士(理学)
		コンピュータ応用実習 生命情報科学概論※ 生命情報科学実習 生命倫理・研究倫理※ 応用実験Ⅱ(情報系) インシリコ創薬基礎実習 インシリコ創薬応用実習 構造生物学
兼任	教授	永井 信夫 (54) <平成31年4月> 博士(理学)
		エッセンシャル動物科学 実験動物学※ 生命倫理・研究倫理※ 動物生理学 薬理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中村 肇伸 (44) <平成31年4月> 博士(薬学)
		エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 実験動物学※ 動物生殖発生学※
兼任	教授	野村 慎太郎 (64) (高) <平成31年4月> 農学博士
		エッセンシャル動物科学※ 実験動物学※ 組織学 動物生殖発生学※
兼任	教授	長谷川 慎 (48) <平成31年4月> 博士(理学)
		化学基礎 機器分析概論※ 生体高分子解析学 生体材料工学※
兼任	教授	林 誠 (57) <平成31年4月> 農学博士
		植物科学概論 遺伝学概論※
兼任	教授	向 由起夫 (54) <平成31年4月> 工学博士
		基礎微生物学※ 遺伝学概論※ 生物工学システム※
兼任	教授	吉川 清次 (55) <平成31年4月> 博士(医学)
		医学概論※ 生命倫理・研究倫理※ 病理学※
兼任	准教授	池内 俊貴 (51) <平成31年4月> 博士(水産学)
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ 自然科学基礎実験Ⅱ
兼任	准教授	伊藤 洋志 (46) <平成31年4月> 博士(人間健康科学)
		医学概論※ 免疫学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中村 肇伸 (44) <平成31年4月> 博士(薬学)
		エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 実験動物学※ 動物生殖発生学※ サイエンスイノベーション入門※ 生命倫理・研究倫理※ 発生生物学※ 応用実験Ⅰ(動植物系)
兼任	教授	野村 慎太郎 (64) <平成31年4月> 農学博士
		エッセンシャル動物科学※ 実験動物学※ 組織学 動物生殖発生学※
兼任	教授	長谷川 慎 (48) <平成31年4月> 博士(理学)
		化学基礎 機器分析概論※ 生体高分子解析学 生体材料工学※ 生命倫理・研究倫理※
兼任	教授	林 誠 (57) <平成31年4月> 農学博士
		植物科学概論 遺伝学概論※ 生命倫理・研究倫理※
兼任	教授	向 由起夫 (54) <平成31年4月> 工学博士
		遺伝学概論※ 基礎微生物学※ 生物工学システム※ 生産管理システム※
兼任	教授	吉川 清次 (55) <平成31年4月> 博士(医学)
		医学概論※ 生命倫理・研究倫理※ 病理学※
兼任	准教授	池内 俊貴 (51) <平成31年4月> 博士(水産学)
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ 自然科学基礎実験Ⅱ
兼任	准教授	伊藤 洋志 (46) <平成31年4月> 博士(人間健康科学)
		医学概論※ 免疫学※ サイエンスイノベーション入門※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	小倉 淳 (43) <平成31年4月> 博士(理学)
		医用データベース技術Ⅰ 医療のための情報工学概論Ⅰ 生命情報科学概論※
兼任	准教授	河内 浩行 (51) <平成31年4月> 博士(工学)
		エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 実験動物学※ 食品衛生学※
兼任	准教授	小宮 徹 (51) <平成31年4月> 博士(理学)
		エッセンシャル生物学Ⅱ 細胞工学 応用実験Ⅱ(動植物系)
兼任	准教授	西郷 甲矢人 (36) <平成31年4月> 博士(理学)
		数理科学Ⅰ 線形代数学 データ解析学 解析学 数理科学Ⅴ
兼任	准教授	塩生 真史 (44) <平成31年4月> 博士(理学)
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ コンピュータ応用実習 数理科学Ⅲ 生命情報科学実習 医用データベース技術Ⅱ インシリコ創薬基礎実習 インシリコ創薬応用実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小倉 淳 (43) <平成31年4月> 博士(理学)
		医用データベース技術Ⅰ 医療のための情報工学概論Ⅰ 生命情報科学概論※ エッセンシャル動物科学※ サイエンスイノベーション入門※
兼任	准教授	河内 浩行 (51) <平成31年4月> 博士(工学)
		エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 実験動物学※ 食品衛生学※ 生産管理システム※ 自然科学基礎実験Ⅰ
兼任	准教授	小宮 徹 (51) <平成31年4月> 博士(理学)
		エッセンシャル生物学Ⅱ 細胞工学 応用実験Ⅱ(動植物系)
兼任	准教授	西郷 甲矢人 (36) <平成31年4月> 博士(理学)
		数理科学Ⅰ 線形代数学 データ解析学 解析学 数理科学Ⅴ
兼任	准教授	塩生 真史 (44) <平成31年4月> 博士(理学)
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ コンピュータ応用実習 数理科学Ⅲ 生命情報科学実習 医用データベース技術Ⅱ インシリコ創薬基礎実習 インシリコ創薬応用実習 サイエンスイノベーション入門※ データ解析学 応用実験Ⅱ(情報系)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	高橋 健一 (51) <平成31年4月> 博士(理学)
		大学での学びと実践方法 I ※ エッセンシャル化学 I ※ コンピュータ応用実習 数学基礎演習 II (微分積分) 数理科学 II エッセンシャル化学 II ※ 医用工学概論 医療のための情報工学概論 II
兼任	准教授	竹花 佑介 (40) <平成31年4月> 博士(理学)
		遺伝学概論※ 生命倫理・研究倫理※ 発生生物学 実験動物学※ エッセンシャル動物科学※
兼任	准教授	依田 隆夫 (46) <平成31年4月> 博士(理学)
		大学での学びと実践方法 I ※ コンピュータ応用実習 数理科学 II 数理科学 IV 生命情報科学実習 応用実験 II (情報系) インシリコ創薬基礎実習 インシリコ創薬応用実習
兼任	准教授	和田 修一 (48) <平成31年4月> 博士(理学)
		エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法 I ※ 多様性生物学概論 動物系統分類学
兼任	准教授	倉林 敦 (48) <平成31年4月> 博士(理学)
		エッセンシャル動物科学※ 多様性生物学概論※ 自然科学基礎実験 I
兼任	准教授	今村(陣田) 綾 (46) <平成31年4月> 博士(農学)
		化学基礎 大学での学びと実践方法 I ※ 応用実験 I (動植物系)
兼任	講師	高橋 敏宏 (53) <平成31年4月> 博士(学術)
		化学基礎 大学での学びと実践方法 I ※ 数学基礎演習 I (基礎解析) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 II
兼任	助教	福崎 優太 (39) <平成31年4月> 修士(バイオサイエンス)
		化学基礎 数学基礎演習 I (基礎解析)
兼任	助教	池島 信江 (44) <平成31年4月> 博士(医学)
		自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 II バイオ実験夢チャレンジ II 応用実験 I (物質系) 応用実験 II (物質系)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	高橋 健一 (51) <平成31年4月> 博士(理学)
		大学での学びと実践方法 I ※ エッセンシャル化学 I ※ コンピュータ応用実習 数学基礎演習 II (微分積分) 数理科学 II エッセンシャル化学 II ※ 医用工学概論 医療のための情報工学概論 II 応用実験 II (情報系) コンピュータ基礎実習
兼任	准教授	竹花 佑介 (40) <平成31年4月> 博士(理学)
		遺伝学概論※ 生命倫理・研究倫理※ 発生生物学※ 実験動物学※ エッセンシャル動物科学※ 多様性生物学概論※
兼任	准教授	依田 隆夫 (46) <平成31年4月> 博士(理学)
		大学での学びと実践方法 I ※ コンピュータ応用実習 数理科学 II 数理科学 IV 生命情報科学実習 応用実験 II (情報系) インシリコ創薬基礎実習 インシリコ創薬応用実習 数学基礎演習 II (微分積分)
兼任	准教授	和田 修一 (48) <平成31年4月> 博士(理学)
		エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法 I ※ 多様性生物学概論 動物系統分類学 自然科学基礎実験 I
兼任	准教授	倉林 敦 (48) <平成31年4月> 博士(理学)
		エッセンシャル動物科学※ 多様性生物学概論※ 自然科学基礎実験 I
兼任	准教授	今村(陣田) 綾 (46) <平成31年4月> 博士(農学)
		化学基礎 大学での学びと実践方法 I ※ 応用実験 I (動植物系)
兼任	講師	高橋 敏宏 (53) <平成31年4月> 博士(学術)
		化学基礎 大学での学びと実践方法 I ※ 数学基礎演習 I (基礎解析) 自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 II
兼任	助教	福崎 優太 (40) <平成31年4月> 修士(バイオサイエンス)
		化学基礎 数学基礎演習 I (基礎解析) 大学での学びと実践方法 I ※
兼任	助教	池島 信江 (44) <平成31年4月> 博士(医学)
		自然科学基礎実験 I 自然科学基礎実験 II バイオ実験夢チャレンジ II 応用実験 I (物質系) 応用実験 II (物質系) バイオ実験夢チャレンジ I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	神村 麻友 (32) <平成31年4月> 博士(バイオサイエンス)
		自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅰ(タンパク質系)
兼任	助教	近藤(桂木) 真千子 (35) <平成31年4月> 博士(バイオサイエンス)
		自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅰ(動植物系) 応用実験Ⅱ(動植物系)
兼任	助教	阪上 起世 (44) <平成31年4月> 博士(バイオサイエンス)
		発生生物学
兼任	講師	縣 保年 (53) <平成31年4月> 医学博士
		免疫学※
兼任	講師	池村 淑道 (77) <平成31年4月> 理学博士
		バイオ実験夢チャレンジⅡ
兼任	講師	石垣 宏仁 (44) <平成31年4月> 博士(医学)
		病理学※
兼任	講師	伊藤 啓介 (49) <平成31年4月> 修士※(文学)
		近江の文化と歴史
兼任	講師	伊藤 靖 (54) <平成31年4月> 博士(医学)
		病理学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	神村 麻友 (32) <平成31年4月> 博士(バイオサイエンス)
		自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅰ(タンパク質系) 大学での学びと実践方法Ⅰ※
兼任	助教	近藤(桂木) 真千子 (35) <平成31年4月> 博士(バイオサイエンス)
		自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅰ(動植物系) 応用実験Ⅱ(動植物系) 大学での学びと実践方法Ⅰ※
兼任	助教	阪上 起世 (44) <平成31年4月> 博士(バイオサイエンス)
		発生生物学 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅰ(動植物系) 大学での学びと実践方法Ⅰ※
兼任	助教	平井 洋行 (35) <平成31年4月> 博士(バイオサイエンス)
		大学での学びと実践方法Ⅰ※
兼任	助教	古川 岳人 (32) <平成31年4月> 博士(バイオサイエンス)
		大学での学びと実践方法Ⅰ※
兼任	講師	縣 保年 (53) <平成31年4月> 医学博士
		免疫学※
兼任	講師	池村 淑道 (78) <平成31年4月> 理学博士
		バイオ実験夢チャレンジⅡ バイオ実験夢チャレンジⅠ
兼任	講師	石垣 宏仁 (44) <平成31年4月> 博士(医学)
		病理学※ 免疫学※
兼任	講師	伊藤 啓介 (49) <平成31年4月> 修士※(文学)
		近江の文化と歴史
兼任	講師	伊藤 靖 (55) <平成31年4月> 博士(医学)
		病理学※ 免疫学※
兼任	講師	菅井 学 (55) <平成31年4月> 博士(医学)
		免疫学※
兼任	講師	田中 裕之 (48) <平成31年4月> 博士(医学)
		免疫学※
兼任	講師	谷垣 健二 (47) <平成31年4月> 博士(医学)
		免疫学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岸本 正司 (73) <平成31年4月> 教育学修士
		法学(日本国憲法)
兼任	講師	衣笠 弥生 (55) <平成31年4月> 修士(人間・環境学)
		科学英語 I 科学英語 II TOEIC講座 I TOEIC講座 II
兼任	講師	京楽 真帆子 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本の歴史と文化
兼任	講師	近藤 紀章 (41) <平成31年4月> 修士(文学)
		おうみ学生未来塾
兼任	講師	榊原 啓子 (65) <平成31年4月> 博士(学術)
		科学英語 I 科学英語 II
兼任	講師	塩澤 俊一 (69) <平成31年4月> 医学博士
		健康保健学
兼任	講師	四方 朱子 (45) <平成31年4月> 修士※(文学)
		一般英語 I 一般英語 II 科学英語 I 科学英語 II
兼任	講師	末岡 加奈子 (47) <平成31年4月> 修士※(人間科学)
		一般英語 I 一般英語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	寺田 晃士 (47) <平成31年4月> 博士(医学)
		免疫学※
兼任	講師	高宮 脩 (72) <平成31年4月> 医学博士
		医学概論※
兼任	講師	武蔵勝宏 (57) <平成31年9月> 博士(法学)
		法学(日本国憲法)
兼任	講師	衣笠 弥生 (55) <平成31年4月> 修士(人間・環境学)
		科学英語 I 科学英語 II TOEIC講座 I TOEIC講座 II 一般英語 I 一般英語 II
兼任	講師	京楽 真帆子 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本の歴史と文化
兼任	講師	近藤 紀章 (41) <平成31年4月> 修士(文学)
		おうみ学生未来塾
兼任	講師	榊原 啓子 (66) <平成31年4月> 博士(学術)
		科学英語 I 科学英語 II 一般英語 I 一般英語 II
兼任	講師	塩澤 俊一 (70) <平成31年4月> 医学博士
		健康保健学
兼任	講師	四方 朱子 (45) <平成31年4月> 修士※(文学)
		一般英語 I 一般英語 II 科学英語 I 科学英語 II 英会話 I 英会話 II TOEIC講座 I TOEIC講座 II
兼任	講師	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 眞 (59) <平成31年4月> 教育学士
		一般英語 I 一般英語 II 英文法 I 英文法 II
兼任	講師	中山 詢(順)子 (58) <平成31年4月> 文学士
		言語表現 I 言語表現 II
兼任	講師	西山 由理花 (31) <平成31年4月> 博士(法学)
		現代の政治と社会
兼任	講師	布井 雅人 (34) <平成31年4月> 博士(教育学)
		心理学
兼任	講師	野部 博子 (73) <平成31年4月> 家政学修士
		文学
兼任	講師	古野 貢 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		世界史
兼任	講師	松島 悦子 (64) <平成31年4月> 博士(社会科学)
		社会学
兼任	講師	三輪 幸一 (66) <平成31年4月> 工学士
		コンピュータ基礎実習 コンピュータ応用実習
兼任	講師	向所 賢一 (49) <平成31年4月> 博士(医学)
		病理学※
兼任	講師	森 雅樹 (41) <平成31年4月> 博士(医学)
		病理学※
兼任	講師	森口 稔 (61) <平成31年4月> 修士※(Master of Science) アメリカ
		言語表現 I 日本語 I (留学生) 言語表現 II 日本語 II (留学生) 科学英語 III 科学英語 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田中 眞 (59) <平成31年4月> 教育学士
		一般英語 I 一般英語 II 英文法 I 英文法 II 科学英語 I 科学英語 II
兼任	講師	中山 詢(順)子 (59) <平成31年4月> 文学士
		言語表現 I 言語表現 II
兼任	講師	西山 由理花 (31) <平成31年4月> 博士(法学)
		現代の政治と社会
兼任	講師	布井 雅人 (34) <平成31年4月> 博士(教育学)
		心理学
兼任	講師	
兼任	講師	中川 智寛 (41) <平成31年4月> 博士(文学)
		文学
兼任	講師	古野 貢 (51) <平成31年4月> 博士(文学)
		世界史
兼任	講師	松島 悦子 (64) <平成31年4月> 博士(社会科学)
		社会学
兼任	講師	三輪 幸一 (66) <平成31年4月> 工学士
		コンピュータ基礎実習 コンピュータ応用実習 コンピュータ応用実習
兼任	講師	向所 賢一 (49) <平成31年4月> 博士(医学)
		病理学※
兼任	講師	森 雅樹 (41) <平成31年4月> 博士(医学)
		病理学※
兼任	講師	仲山貴永 (40) <平成31年4月> 博士(医学)
		病理学※
兼任	講師	森口 稔 (61) <平成31年4月> 修士※(Master of Science) アメリカ
		言語表現 I 日本語 I (留学生) 言語表現 II 日本語 II (留学生) 科学英語 III 科学英語 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	安村 恵子 (56) <平成31年4月> 修士※(文学)
		哲学
兼任	講師	山形 哲夫 (68) <平成31年4月> 薬学士
		公衆衛生学
兼任	講師	吉川 英治 (53) <平成31年4月> 修士※(経済学)
		経済学
兼任	講師	和田 佳子 (61) <平成31年4月> 博士(医学)
		コンピュータ・グラフィックス実習 人工知能入門 人工知能の理論と実践 AIロボット製作実習 立体解剖学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	安村 恵子 (56) <平成31年4月> 修士※(文学)
		哲学
兼任	講師	山形 哲夫 (68) <平成31年4月> 薬学士
		公衆衛生学
兼任	講師	吉川 英治 (53) <平成31年4月> 修士※(経済学)
		経済学
兼任	講師	和田 佳子 (61) <平成32年9月> 博士(医学)
		コンピュータ・グラフィックス実習 人工知能入門 人工知能の理論と実践 AIロボット製作実習 立体解剖学

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・昇任審査に基づく審査により、小倉淳准教授は教授に変更。
- ・より専門的で幅広い知識を学生に教授するため「エッセンシャル動物科学※」「多様性生物学概論※」「自然科学基礎実験Ⅰ」に兼担の倉林敦准教授を担当者に追加。
- ・昇任審査に基づく審査により助教に昇任した平井洋行助教、古川岳人助教を兼担として担当者に追加。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するために、高宮脩講師、菅井学講師、田中裕之講師、谷垣健二講師、寺田晃士講師、仲山貴永講師を担当者追加。
- ・岸本正司講師辞任により、武蔵勝宏講師に変更。
- ・野部博子講師辞任により、中川智寛講師に変更。
- ・自己都合により、末岡加奈子講師が辞任。
- ・自己都合により、和田佳子講師の就任が、平成31年4月から令和2年9月に変更。

- (注)
- ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
8	6	0	2	16	9	7	0	2	18
(9)	(7)	(0)	(2)	(18)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
8	6	0	2	16	8	6	0	2	16
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	2 名	2 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{16} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{18} = \boxed{11.11} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）		
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	山本博章	必修	生命倫理・研究倫理※	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)				
			選択	バイオ実験夢チャレンジI バイオ実験夢チャレンジII	①					
			必修	応用実験II(物質系)	①					
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)			
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専門的な知見を有しているため、引き続き、専任教員(教育担当特別任用教員 職位:教授)として「バイオ実験夢チャレンジI」「バイオ実験夢チャレンジII」「生命倫理・研究倫理※」「応用実験II(物質系)」を担当している。 学生には、WEBシラバスで周知している。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届出時 (平成30年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 遵守事項	平成31年4月からの開設のため今年度は実施しておりません。但し、現在新規教員を採用することを検討しています。 履行中	今後、中堅若手教員を新規採用する予定です。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<バイオサイエンス学部 メディカルバイオサイエンス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学では学部FD委員会を設置し、以下の「学部FD委員会規程」を定めている。 長浜バイオ大学バイオサイエンス学部FD委員会規程 (2006年5月16日 規程 第68号)</p> <p>(設置目的)</p> <p>第1条 長浜バイオ大学(以下「本学」という。)バイオサイエンス学部における教育・研究の質向上を図るために、ファカルティー・ディベロップメント(以下「FD」という。)委員会を設置する。</p> <p>(委員会)</p> <p>第2条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。 (1) 学生教育推進学習支援担当副機構長 (2) 学生教育推進就業力支援担当副機構長 (3) 学長が指名する者 若干名</p> <p>2 本委員会のもとに小委員会を置くことができる。</p> <p>(委員長)</p> <p>第3条 委員会に委員長を置き、学生教育推進学習支援担当副機構長が当たる。 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。 3 委員長に事故があるときは、第2条の2号の委員がその職務を代行する。</p> <p>(任務)</p> <p>第4条 委員会は、全学的な教育・研究の能力向上、その他教育改善を図るため、次に掲げる事項を審議し、FDを推進する。 (1) FD推進のための企画および実施に関すること (2) FDに関する記録および報告書等の作成に関すること (3) 大学が取り組む教育改善に関する講演会、シンポジウム等の支援に関すること (4) その他FDに関して委員会が必要と認めた事項</p> <p>(事務)</p> <p>第5条 委員会の事務は、関連部課の協力を得て学生教育推進機構事務室教務担当が担当する。</p> <p>(その他)</p> <p>第6条 この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、別に定める。</p> <p>(改廃)</p> <p>第7条 この規程の改廃は、委員会の議を経て、学長が行う。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>本学における学部FD委員会の開催については、年度初(4月下旬～5月上旬)の開催を原則としている。主な審議事項としては、前年度決算報告と当年度予算審議、当年度FD取組方針審議と前年度活動総括、および当該年度活動予定の審議である。 平成31年度は、4月16日(火)に第1回学部FD委員会を開催し、構成員全員出席のもと、前年度決算報告と当年度予算審議当年度FD取組方針審議と前年度活動総括、および当該年度活動予定を審議した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1) FD推進のための企画および実施に関すること (2) FDに関する記録および報告書等の作成に関すること (3) 大学が取り組む教育改善に関する講演会、シンポジウム等の支援に関すること (4) その他FDに関して委員会が必要と認めた事項</p>
--

② 実施状況

a 実施内容

- ・FDに関する記録および報告書等の作成に関すること
大学の学園通信「めいこう」NO.37(2018年秋発行)に2017年度活動報告を記載
2018年度活動報告を「めいこう」NO.40(2019年秋発行)に掲載予定
- ・大学が取り組む教育改善に関する講演会、シンポジウム等の支援に関すること
大学内情報システム「デスクネッツ」に講演会、シンポジウム等の情報提供

b 実施方法

- (1) 関西地区FD連絡協議会に加盟して、他大学等のFD関連セミナーの開催情報の提供を受け、全教職員の参加促進を図っている。参加者にはセミナー報告書と参加時の資料の提出を義務付け、報告書と資料を本学図書情報センターの閲覧コーナーに展示し、教職員の閲覧に供している。
- (2) 他大学等のFDの取り組みの中で、本学の教学改善に参考とすべきものについては外部講師を招聘し、講演会形式による学部ならびに大学院FD研修会を開催する機会を設け、講演内容をFD委員会ならびに教学関連委員会において議論し、次年度以降の教学改善に繋げる方策を取っている。
- (3) 研修会の内容等を参加教員だけでなく全教員が共有するために、研修会報告・感想、研修内容の活用例等を学内WEB上に公開する。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- (1) FD研修会の開催
 - ①「学びが深まるアクティブラーニングの授業設計ー互惠の関係の構築について学ぶ」平成31年3月13日
(東海学園大学スポーツ健康科学部准教授 水野正朗先生、教員28名参加)
 - ②「ルーブリック評価に関して」平成30年8月27日
(長浜バイオ大学学生教育推進機構長 河合 靖教授 教職員49名参加)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- (1) 上記学部FD研修会を経て①に関しては、学び手が他者との対話を通じて学びあうことで学習効果を確認なものにする関係性を学習し、2019年度前期講義に生かしている。2019年度後半には、その成果を踏まえ発展編を企画中である。また、②に関しては、2019年度から全科目において、ルーブリック評価を導入しており、前期セメスター成績評価終了後、再度研修会を開催し、授業改善に生かしていきたい。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業の最終回に実施(前期セメスター7月末)、後期セメスタ(1月末) 年2回実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生には、学内ホームページに公開している。教員に対しては、メール、pdf等でアンケート結果を周知している。

教務委員会では、学生の成績評価と授業アンケートから、極端に学生の理解度が低く不合格者が多い科目に関し、担当教員に対してヒアリングを行い、問題があれば改善を提言する活動を行なっている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

「該当なし」

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

「該当なし」

c 委員会の審議事項等

「該当なし」

d その他

「該当なし」

② 審議状況

a 審議した内容

「該当なし」

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

「該当なし」

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

入試定員70名に対して、のべ志願者714名（志願倍率10.2倍）、入学者79名となり。新設学科として大きな期待が寄せられている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和6年5月1日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和6年5月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和5年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元 年 6 月 1 日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。